

音威子府版 支える会通信

No.14(2014/12/17)
JAL闘争を支える
音威子府の会
事務局:おといねっぷユニオン
TEL/FAX 01656-5-3368

解雇通告から4年 あの日の怒り 悔しさ忘れない!!

12・9 JAL本社前行動



寒空の下、JAL本社前には、500人超が結集

2010年12月9日は、JAL原告団員にとって忘れ得ぬ日です。解雇通告から4年、JAL本社前には原告団をはじめ、支援共闘、支える会の仲間500人以上が結集し、JAL本社に対して怒りの抗議と早期解決を訴えました。

全労協金澤議長は、「安全を犠牲にしてまでも、営利を優先させるJALの経営姿勢では、いつ二次破綻が起きてもおかしくない。安全優先を追求すべき」と訴えました。

山口乗員原告団長、内田客乗原告団長は、「管財人から解雇を通告されたときの怒りや悔しさは絶対忘れることは出来ない。必ず職場に戻る」と決意を新たにしていました。

支援共闘会議は、JAL植木社長に対し争議の早期解決を要請しましたが、JAL本社は、社屋への立ち入りを拒否し、入口前での対応に終始しました。



申し入れに、JAL会社は玄関前で対応

=支援の拡大で、勝利解決目指そう!=

今回、北海道からこの行動に参加の機会をいただき、率直に感じたことは、解決の機はまだ熟していないこと。解決を迫るには、支援の輪をもう一回り大きくする必要があること。北海道からも支える会の拡大と物資販売を通じて支援の輪を広げたいと思います。（行動参加報告：杉山）